

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
子どもの健康と安全 Child Health and Safety		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	I	必修	安富 雅恵	
概要				
<p>「子どもの保健」で学んだことを基礎に、保育現場で出会う子どもの病気や事故について理解し、予防や対策について学ぶ。また、子どもに関連する法律を踏まえ、健康障害の有無に拘わらず、その子どもに合った保健的対応について学ぶと共に、保育者としての責任や役割を学ぶ。</p>				
到達目標				
<p>(1) 子どもによくみられる病気や感染症について理解し、その予防や対策、適切な対応について述べるができる。</p> <p>(2) 子どもに起こりうる事故やその原因を理解し、その予防や対策、適切な対応について述べる事が出来る。</p> <p>(3) 保育現場における子どもの心身の健康や衛生管理、安全管理について理解し、説明することが出来る。</p> <p>(4) 子どもの成長に関する法律と、その関連性について述べる事が出来る。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（子どもの健康と安全） 保育環境 等 2. 保育における健康安全管理の実際（保育現場での衛生管理、事故防止と安全対策 等） 3. 保育における健康安全管理の実際（災害への備えと危機管理） 4. 子どもの体調不良などへの対応（子どもの主な症状への対応、応急処置） 5. 子どもの体調不良などへの対応（救急処置および救急蘇生法、子どもと薬） 6. 感染症の予防と対策（感染症の集団発生の予防、感染症対策） 7. 保育所における保健的対応（3歳未満児への対応） 8. 保育所における保健的対応（個別な配慮を必要とする子どもへの対応） 9. 保育所における保健的対応（障害がある子どもへの対応） 10. 健康、安全への取り組み（職員の連携と組織的取組、子どもの健康づくりへの取り組み） 11. 母子に関する法律（母子保健法、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律） 12. 法律に関する事業の実際（母子保健福祉事業の実際、21世紀の母子保健福祉） 13. 法律に関する事業の実際（児童虐待防止法の実際） 14. 子育て支援のためのネットワーク（施設を中心とした地域活動と住民による子育て支援活動） 15. まとめ 				
テキストおよび 参考文献	<p>テキスト：「わかりやすい子どもの保健」飯島一誠監修 日本小児医事出版社 参考文献：「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 配布資料</p>			
メッセージ な ど	<p>前期「子どもの保健Ⅰ」で習ったことをよく復習し、授業に臨んで下さい。 子どもに関わるニュース等から、現状を考える姿勢を養っていきましょう。</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 子どもによくみられる病気や感染症について理解し、その予防や対策、適切な対応について述べることができる。	ほぼ完璧に述べる事が出来る。	大きな間違いがなく、基本的なことは述べている。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本は述べている。	殆ど述べていない。	・定期試験 (知識・理解)	60%
(2) 子どもに起こりうる事故やその原因を理解し、その予防や対策、適切な対応について述べる事が出来る。	ほぼ完璧に述べる事が出来る。	大きな間違いがなく、基本的なことは述べている。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本は述べている。	殆ど述べていない。		
(3) 保育現場における子どもの心身の健康や衛生管理、安全管理について理解し、説明することができる。	ほぼ完璧に説明することができる。	大きな間違いがなく、基本的なことは説明出来ている。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本は説明出来ている。	殆ど説明出来ていない。	・小レポート (関心・意欲・思考力・判断力・表現力)	20%
(4) 子どもの成長に関する法律と、その関連性について述べる事が出来る。	ほぼ完璧に述べる事が出来る。	大きな間違いがなく、基本的なことは述べている。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本は述べている。	殆ど述べていない。		